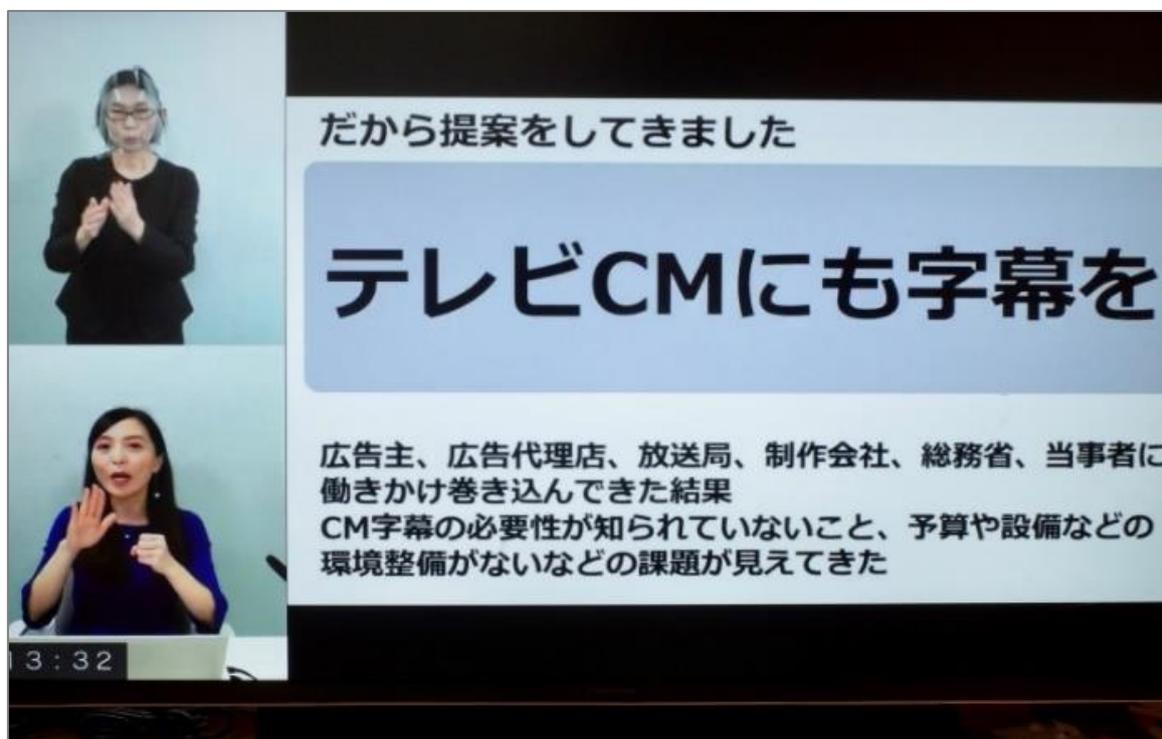


IAUD Newsletter vol.13 第9号(2020年12月号)

1. CM字幕PJ「第6回字幕付きCMセミナー」参加報告..... 1
2. IAUD 国際デザイン賞 2019 受賞紹介⑨..... 5
3. IAUD 国際デザイン賞 2020 プレゼンテーション/表彰式開催のご案内..... 9
4. 「オンライン第1回UD検定・中級」申込み受付中..... 9
5. IAUD12月の予定..... 10

2022年までにすべてのCMに字幕を

CM字幕プロジェクト「第6回字幕付きCMセミナー」参加報告



オンラインで開催された「第6回字幕付きCMセミナー」。画面左下はCM字幕プロジェクトの松森副主査

字幕付きCM普及を目的に活動しているIAUD研究部会CM字幕プロジェクトは、10月13日(火)にオンラインで開催された「第6回字幕付きCMセミナー」(主催:字幕付きCM普及推進協議会)に登壇し、字幕付きCMの現状や課題について講演しました。

当日は、課題と対応策を取りまとめた「字幕付きCM普及推進に向けたロードマップ」も紹介され、全てのCMに字幕が付与される環境ができつつあることが明らかになりました。

今号のNewsletterでは、セミナーの概要と情報保障が入ったオンラインセミナーを聴講した感想を、同プロジェクトの高橋雅尚主査が報告します。

オンライン開催で参加者倍増

セミナーを主催した「字幕付きCM普及推進協議会」は、日本民間放送連盟、日本広告業協会(JAAA)、日本アドバイザーズ協会(JAA)の3団体で構成されており、字幕付きCMの普及促進を図るため、広告主や放送関係者、広告会社、聴覚障害者団体など字幕付きCM関係者を対象に、定期的に「字幕付きCMセミナー」を開催しています。

6回目のセミナーとなった今回は、聴覚障害者や高齢者の情報アクセシビリティを確保するという字幕付きCMの社会的意義を改めて確認するとともに、「字幕付きCM普及推進協議会」が8月に取りまとめた「字幕付きCM普及推進に向けたロードマップ」の策定意義を関係者で広く共有し、その普及推進を図ることを目的としています。

今回は初めてオンライン開催となり、当日はYouTube Liveで無料配信されました。また、情報保障として、手話通訳と要約筆記通訳が同時配信されました。

参加人数は600人を超え、対面セミナーだった前回の340名から倍増し、場所を問わず参加できるオンライン開催のメリットを改めて感じました。

高齢化社会で高まる字幕付きCMの社会的意義

初めに、開会挨拶として鈴木信二 JAA 専務理事は「高齢化を迎える中で、字幕付きCMは誰にとっても必要なもの。企業にはSDGs(国連の持続可能な開発のための国際目標)の考え方を持っていただき、字幕付与コストを投資として位置づけてほしい」と、字幕付きCMの重要性を訴えました。

続いて、有識者による3つの講演が行われました。

まずは、総務省情報流通行政局地上放送課の金子裕介氏が「視聴覚障害者等向け放送の普及に向けた取組について」をテーマに講演しました。

金子氏は、これまで政府が取り組んできた視聴覚障害者への放送政策や字幕放送の目標値設定とその実績報告、字幕制作への補助や自動字幕付与システム開発などを紹介しました。

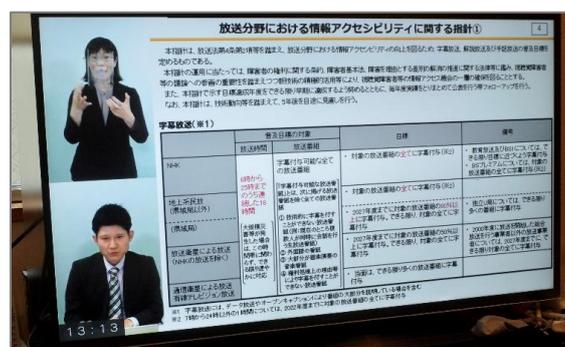
そして、字幕付きCMに関しては、5年ごとの民放への電波再免許発行時に「CMへの字幕付与」を要請している、としました。

また、総務省の放送に対する基本的な方針は、「テレビは家族で楽しむメディア。番組もCMも誰もが一緒に楽しんでもらえることが重要」とし、字幕付きCMの普及活動が総務省の方針と一致していることも確認できました。

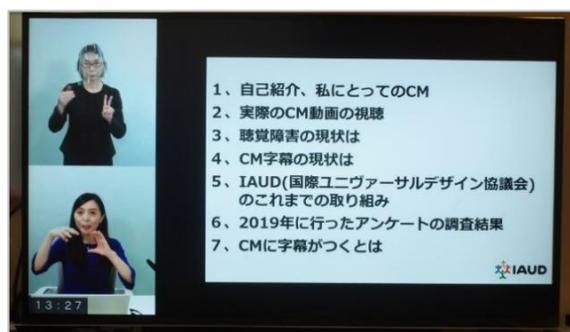
情報格差のない、誰も取り残さない社会へ

続いて、当プロジェクトの松森果林副主査が、「テレビCMにも字幕を！～だれもが同じ情報を得られる社会を目指して～」と題して、2006年から取り組んでいる字幕付きCM普及に向けたプロジェクトの活動を報告しました。

初めに、実際のCMを「字幕なし」と「字幕あり」で見てもらい、いかに情報格差が生まれているかを体験していただきました。



講演する金子氏(画面左下)



講演する松森副主査(画面左下)

次に、字幕付き CM の現状として、テレビ番組への字幕付与率はほぼ 100%に対し、テレビ CM 字幕付与率は放送時間に対しわずか 0.3%であること、広告主 282 社のうち字幕付 CM 放送企業は 15 社だけであることなどを報告しました。

続いて、当プロジェクトが 2019 年に実施した「字幕付き CM に関するアンケート」※の分析結果を報告し、1,250 名からの回答より得た生活者のニーズや声を紹介しました。

そして、情報格差のない「誰も取り残さない社会づくり」をしていくことが必要で、それは SDGs の理念である「持続可能で多様性と包括性のある社会の実現」にもつながる、と伝えました。

セミナー後のアンケートでは、松森副主査の講演について、「商品・サービスの情報をしっかりと伝えることが、新たなマーケティングになるという点が気づきになった」「字幕付き CM が SDGs の実現にもつながり、企業価値も上げることが分かった」「IAUD で当事者視点の意見を発信する取り組みが素晴らしい」などの感想があり、多くの参加者に当プロジェクトの活動趣旨を理解していただきました。

※「字幕付き CM に関するアンケート」分析結果を掲載した IAUD Newsletter2019 年 10 月号は [こちら](#)をご覧ください。

字幕付き CM100%付与へのロードマップ

続いて、JAA 電波委員長及び字幕付き CM 普及推進協会運営委員長の小出誠氏が、「字幕付き CM 普及推進に向けたロードマップ」について紹介しました。

「字幕付き CM 普及推進に向けたロードマップ」は、字幕付与の対応が可能な制作会社の増加や、放送局の設備状況が整いつつある状況を受け、字幕付き CM 普及推進協議会が改めて課題とその解決へ向けた対応策を検討して取りまとめたものです。

ロードマップでは、「字幕付き CM が放送される放送枠を増やす」「字幕付き CM を制作する広告主を増やす」という 2 つのテーマを掲げ、段階的な工程を経ながら字幕付き CM の拡大を進めていきます。(下図ご参照)

[2020年9月18日・プレスリリース]
字幕付き CM 普及推進協議会
「『字幕付き CM 普及推進に向けたロードマップ』取りまとめに関する公表について」別紙

① 放送枠を増やす			② 広告主を増やす
開始時期	放送枠	素材搬入局・発局	・ ニーズに対する認識 ・ 制作にかかわる ノウハウの理解 の向上に向けて、 広告主への啓発活動 (セミナーなど)を 継続的に実施
1 2020年10月	ネットタイム枠・ローカルタイム枠	関東エリア5局	
2 2021年4月	同上	関東・関西・東海エリア 15局	
充分な運行上の知見蓄積・課題検証を確認			
3 2021年10月(見込み) 3団体で進捗確認後に移行時期確定	同上	全国 設備面での対応状況に応じて順次拡大	
4 2022年10月(見込み) 3団体で進捗確認後に移行時期確定	ネットタイム枠・ローカルタイム枠 ・ スポット枠	同上	

※ ネットタイム枠： 全国のネットワーク系列局で放送される番組提供CM枠
 ※ ローカルタイム枠： 各放送局が独自で放送する番組提供CM枠
 ※ スポット枠： 番組提供CM枠以外の、放送局が独自に定めるCM枠
 ※ 対象は、全国のネットワーク系列局（独立局、BS局を除く）です。
 ※ ①関東5局はTBSテレビ、日本テレビ放送網、テレビ朝日、フジテレビジョン、テレビ東京、②関西5局は毎日放送、朝日放送テレビ、読売テレビ放送、関西テレビ放送、テレビ大阪、③東海5局はCBCテレビ、東海テレビ放送、名古屋テレビ放送、中京テレビ放送、テレビ愛知です。
 ※ 設備面での対応状況を随時確認し、その状況に応じた段階的な対応開始時期を設定します。設備対応までの間、字幕を表示できない場合があります。

「字幕付き CM 普及推進に向けたロードマップ」について(プレス資料別紙より)

※「字幕付き CM 普及推進に向けたロードマップ」については [こちら](#) をご覧ください。

さらに、これまで字幕付きCMの普及に大きく影響していた制約や懸念事項に対して、小出氏から具体的な対応策の説明がありました。

例えば、「字幕文字が次のCMにかぶさると放送事故となるのでは」という問題に関しては、CMの映像と音声の流れであれば放送事故とは考えず補償は求めないと申し合わせました。

また、同じCM放送枠での字幕付きCMと字幕なしCMの混在については、問題視しないというスタンスを決定しました。

字幕付きCM普及に向けての費用面や制作のノウハウ、広告主のニーズに対する認識不足などの課題は、セミナーなどで継続的な情報発信を行うとしました。

そして、小出氏の「2022年に向けてすべてのCMに字幕をつけていきたい」という言葉からは、強い決意が伺えました。

これまで、コスト面や様々な制約で普及しなかった字幕付きCMが、ここにきて大きく動き出しています。このロードマップ公表は非常に大きな一歩であり、字幕付きCMの100%付与に向けて加速を始めていると感じました。

当プロジェクトも、これから多くの広告主が積極的に字幕付きCMの検討を始められるよう働きかけていきます。

最後に、日本民間放送連盟専務理事の永原伸氏より、閉会の挨拶がありました。

永原氏は、「これから字幕付きCMが増えてくると、新たな課題も出てくるはず。それをしっかりと検討し、字幕付きCM普及を着実に進めていきたい」と、今後の期待と決意で締めくりセミナーは終了となりました。

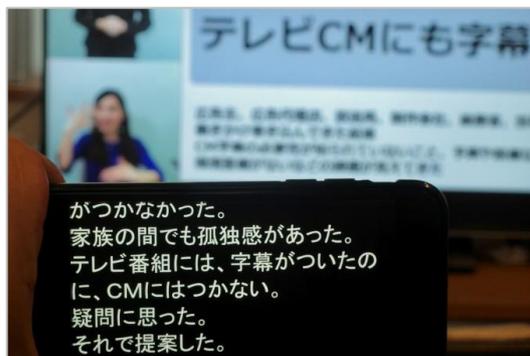
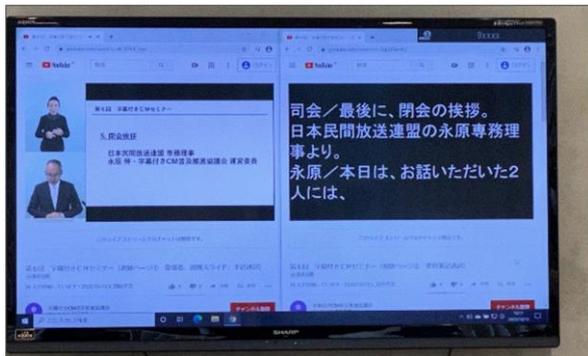
ダブルの情報保障で快適な視聴

今回のセミナーはYouTubeLiveによるオンライン開催でした。参加方法など難しいかと思っ
ていましたが、申し込み後に手話通訳用URLと要約筆記通訳用URLが記載されたメールを受
信すると、あとは自分に合った視聴方法を選択すればよく、非常に簡単でした。

画面左上にある手話通訳は見やすく、通信遅延によるタイムラグもなく、快適に視聴でき
ました。

要約筆記による文字通訳は、別のブラウザまたはスマートフォンで立ち上げ、それらを並べ
て同時に視聴できました。

with コロナ時代の新しいセミナーの形として、世界中の誰もが情報保障を享受できる可能性
を大いに感じました。



画面左上には手話通訳、文字通訳は別のブラウザで視聴(左写真)。文字通訳はスマホ(右写真)でも視聴できた

14年間の普及活動が結実

当プロジェクトとして2006年から取り組んできたことが、今回公表されたロードマップに繋がったと感じました。

長らく普及活動をしてきただけに、ようやくここまで来たという達成感と、実現に向けて努力してきたプロジェクトメンバーへの感謝の気持ちでいっぱいになりました。

また、日本民間放送連盟、日本アドタイザーズ協会、日本広告業協会のそれぞれが利害関係を超えて協議してくれたこと、そしてこれまで関わってきたすべての皆様に感謝を申し上げます。

当プロジェクトは、これがゴールではなく新しくスタートラインに立ったつもりで、今後も字幕を付与する広告主を増やしていきます。

そして、現状の字幕配置やフォント等の考え方を大きく変える場合、字幕規格の改定などが必要ですが、まずは制約の中でどこまで細かいニュアンスが表現できるか、「新しい字幕のカタチ」の実現可能性を引き続き検討・追及していきます。

CM字幕アンケート2020実施中！

当プロジェクトは今後の活動の参考にするために、2020年度も字幕付きCMや動画、メディア接触状況など商品情報入手に関するアンケート調査をIAUDの公式サイト上で実施しています。

ぜひ皆さまのご協力をお願いします。

※CM字幕アンケート2020は[こちら](#)をご覧ください。



実施中のCM字幕アンケート調査



持続的な共生社会の実現に向けて

IAUD 国際デザイン賞 2019 受賞紹介⑨

IAUD 国際デザイン賞 2019 受賞紹介の最後は、コミュニケーションデザイン部門金賞を受賞した Aira Tech Corporation (米国)の「Aira: Powering Inclusion for Blind, Low-Vision Individuals Through Business Partnerships and Human AI Technology」です。

ロジャー・コールマン審査委員長(英国王立芸術大学院名誉教授)は「Aira」について、「AI技術と企業スポンサーの革新的な共同作業により、視覚障害者に無料のアクセスポイントによる支援と情報を提供している。有意義で望ましいパートナーシップにより、将来のUD社会を約束する素晴らしい事例」と評価しています。

今号のNewsletterでは、「Aira」の取り組みを Aira Tech Corporation の Paul Schroeder 氏に紹介していただきます。

※IAUD 国際デザイン賞 2019 受賞結果は[こちら](#)をご覧ください。

IAUD 国際デザイン賞 2019 審査講評は[こちら](#)をご覧ください。

※IAUD 国際デザイン賞 2019 プレゼンテーション・表彰式開催報告は[こちら](#)をご覧ください。

※IAUD 国際デザイン賞 2019 受賞紹介①～⑧の記事は[こちら](#)からご覧ください。

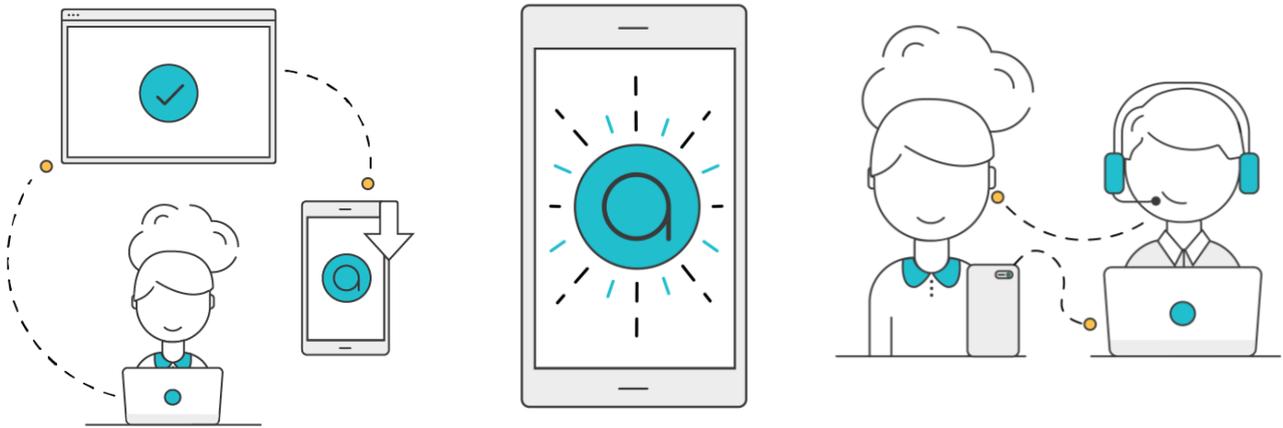


IAUD 国際デザイン賞 2019 プレゼンテーション／表彰式の様子(2019年12月、東京・赤坂)



視覚障害者へリアルタイムに情報提供

IAUD 国際デザイン賞 2019 金賞: Aira: Powering Inclusion for Blind, Low-Vision Individuals Through Business Partnerships and Human AI Technology Aira Tech Corporation (米国)



視覚障害者に情報への即時アクセスを提供する Aira

視覚障害者の目となるサービス

Aira は、視覚障害者と特別に訓練された遠隔にいるスタッフをつなぎ、現在地周辺の視覚情報をリアルタイムで提供するサービスです。

ユーザーはスマートフォンのアプリケーションとストリーミングビデオの技術を通じて、いつでもどこでも必要な情報に即座にアクセスできます。そして、日常生活がより快適なものになり、自立も促進します。

Aira のサービスは、連携している小売業、空港、交通機関、博物館などにより、無料でも提供されています。

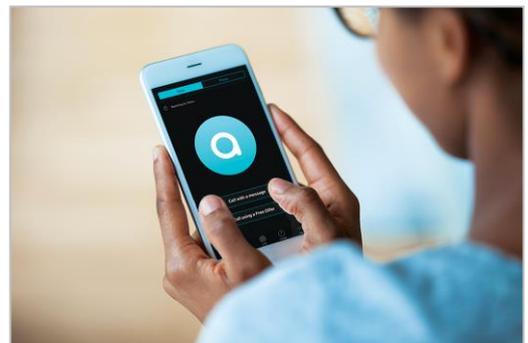
情報への即時アクセスを提供

Aira という名前は、人工知能 (AI) とリモートアシスタンス (RA) という 2 つの情報源に由来しており、開発したのは 2014 年創業の米国サンディエゴを拠点とする企業「Aira Tech Corporation」です。

Aira の使命は、「ユーザーが必要なときに必要な場所で情報や支援に瞬時にアクセスできるようにし、アクセスへの障壁を取り除くこと」です。

同社は、視覚情報への即時アクセスの喪失が視覚障害者にとって真の課題である、と確信しています。

障害者にも十分なアクセシビリティを提供することは、UD と ADA (障害をもつアメリカ人法) の理念です。



スマホで簡単に操作

遠隔スタッフのリアルタイム支援

Aira の使い方は簡単でシンプルです。Aira アプリケーションをスマートフォンにダウンロードすれば、高度な訓練を受けた遠隔支援専門スタッフの「Aira エージェント」とつながり、リアルタイムの支援を受けられます。

エージェントは、GPS や地図、インターネットなどから集めた情報と一緒に、ユーザーのスマートフォンのカメラから送られてくるライブ映像を使って、ユーザー周囲にある視覚情報を即座に提供します。例えば、交通量の多い道路や空港、大学などからの移動案内、

メニューやメールの読み上げや読書、混雑した場所での顔の識別、職場や学校でのパフォーマンス、博物館の鑑賞やスーパーボウルなどスポーツ観戦、マラソン伴走のサポートなどです。

このように、Aira はユーザーが無事目的地に着くのをサポートするだけでなく、従来の支援ツールでは簡単にアクセスできなかったあらゆる客観的な視覚情報を提供し、視覚障害者の世界を豊かにすることを目指しています。

そして、ユーザーが世界に完全に関与し、体験できるようにすることで、あらゆる日常活動における自立性と効率性を向上させます。



遠隔支援を提供する Aira エージェント

提携企業により無料で利用可能

Aira は、企業との持続可能なパートナーシップ構築に重点を置いています。

Aira と提携しているパートナー企業のスポットでは、Aira の有料プランを購読していない人でも、スマートフォンのカメラをかざすだけで、即時に情報を無料で受信できます。

こうして、より多くのスポットで無料の Aira サービスを提供することで、より多くの視覚障害者の市場や雇用への参加を促進しています。

企業にとっても、視覚障害者に目の見える顧客と同じ情報を提供することで、未開拓の市場を開くことができます。そして、アクセシビリティを提供する方法をリードし、真に包括的な企業になれるのです。

Aira のパートナー企業は幅広く、Walgreens や Target などの小売業者や 国内外の 50 以上の空港、スミソニアン協会などの博物館や動物園、Prudential Insurance Company of America や Volkswagen などの大手企業、主要大学、NFL チームである Dallas Cowboys の AT&T スタジアム、ニューヨークの MTA (ニューヨーク都市圏交通公社) などの交通機関、マイアミなどの都市があります。

Aira を利用してスミソニアン博物館を鑑賞した Daniel Frye 氏は、「20 世紀のドイツ史で学士号を取得した盲目の人間として、スミソニアン博物館は大変魅力的です。私が見ているものを客観的に説明してもらうことは、自由と勇気を与えてくれます。私たちは、情報にアクセスできれば対等な立場で社会に参加することができます。そうでなければ、排除されたり権利を剥奪されたりするのです」と述べています。



世界 50 以上の空港でも無料で利用可能

さらに、Aira は 2019 年にボストンの MBTA(マサチューセッツ湾交通局)との「Access AI パートナーシップ」を発表しました。これは、公共交通機関でのアクセシビリティの解決策として、AI 技術使用を試験的に実施する世界初の交通システムです。

この前例のない官民パートナーシップについて、Aira の共同創設者兼 CEO である Suman Kanuganti は、「我々は視覚障害者の日々の生活を変えることに情熱を注いでおり、マサチューセッツ州及び世界のコミュニティのために、公共交通機関でのアクセシビリティを向上させていきます。モビリティが向上すると経済が向上し、すべての人にプラスの影響を与えるのです」と述べています。

視覚障害者の就職も促進

Aira と企業のパートナーシップは急速に拡大し続けており、2019 年での提携数は 25,000 となっています。

増え続ける無料サービスの提供により、固定収入のない人や失業者に雇用や経済への参加を促進し、独立性を高めることを実現しています。

これまでに 300 人以上の Aira ユーザーが就職しました。その多くは初めての就職で、視覚障害者である大学生の成功を促進しており、すでに大きな成果を上げています。

米国では視覚障害者の失業や低賃金雇用のために、2013 年だけで 480 億ドル以上の損失があった(Prevent Blindness, 2013 から引用)ことを考慮すると、Aira のサービスは今後も重要な役割を担うでしょう。

Web サイトのアクセシビリティも改善

Aira は、企業の Web サイトのアクセシビリティも強化します。Web サイトには、アクセシビリティプロトコルを完全に備えていない場合や、視覚障害者が Web サイトにアクセスするための特別な支援ツールを欠いている場合があります。

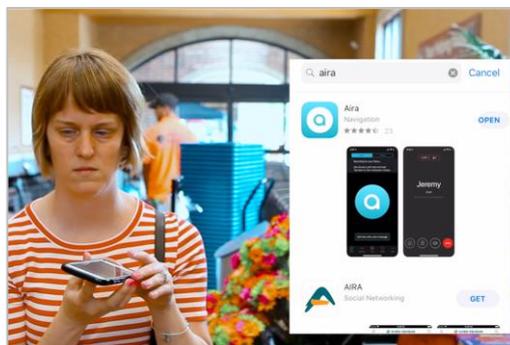
そこで、Aira のパートナーシップ企業は、視覚障害者ユーザーに Aira の遠隔支援を提供することで、Web サイトへアクセスしてナビゲートするのを支援します。

その過程で、Web サイトのアクセシビリティに対する認識を高め、識別しにくいアクセシビリティの問題に対処できる実用的なデータも提供します。

国際的に高い評価

Aira の画期的な取り組みは、TIME 誌「2018 年ベスト・インベンション」や Forbes 誌「Top 50 Listing of the Most Promising Artificial Intelligence Companies in America 2019(アメリカで最も有望な人工知能企業)」に選出されました。

また、「SXSW 2019(米国オースティンで開催される最先端テクノロジーの祭典サウス・バイ・サウスウエスト)」、「Mobile World Congress 2019(スペイン・バルセロナで開催される世界最大級の携帯電話関連展示会)」でも紹介されるなど、業界から高い評価を受けています。
※Aira の詳細は[こちら](#)をご覧ください。



国際的にも高い評価を得ている



オンライン開催！革新的な UD 活動を国際的に表彰

IAUD 国際デザイン賞 2020 プレゼンテーション/表彰式開催のご案内

持続的な共生社会の実現に向けた UD 活動の実践や提案を国際的に表彰する「IAUD 国際デザイン賞 2020」のプレゼンテーション/表彰式を、12月18日(金)17時から19時まで、ZOOM ミーティングによるオンラインにて開催します。

今回も英国、ドイツ、スウェーデン、スイス、イスラエル、アルゼンチンなど世界 14 か国の企業・団体から多様な分野にわたり応募がありました。

当日は受賞者の表彰や「大賞」「金賞」のプレゼンテーション、審査委員講評などが行われ、日英通訳を同時配信します。

IAUD 会員で参加希望の方は、所属、役職、氏名、連絡先メールアドレスを記載したメールを 12月11日(金)まで info@iaud.net 宛にご送付ください。参加費は無料です。後日、視聴ページの URL をご連絡します。

参加可能人数に限りがありますので今回は IAUD 会員限定とし、先着順に締め切らせていただきます。ぜひお早目にお申込みください。

UD 在宅で好きな時に UD 資格習得 検 定 「オンライン第 1 回 UD 検定・中級」申込受付中

IAUD は「オンライン第 1 回 UD 検定・中級」を実施します。

「オンライン UD 検定・中級」は、力試し問題と UD 検定・中級試験(70分・129問)を受けていただきます。

試験問題は、公式テキストブック「知る、わかる、ユニヴァーサルデザイン」(A4判 263ページ)に準拠して出題されます。

受験される方は、事前に公式テキストブックをご購入し、ご自身で学習された後に検定試験をお受けください。

検定試験前に、学習状況の把握や本試験の回答方法の事前確認に役立つ力試し問題を配信いたします。

力試し問題と検定試験は、実施期間中であれば時間・場所を問わず受けることができます。

合否は検定試験終了後すぐに判定されます。合格基準は総合得点 70%以上で、合格者には「UD 検定・中級 認定証」を発行します。

申し込み受付は 12月15日(火)までです。この機会に是非、ご参加ください。

※「オンライン第 1 回 UD 検定・中級」申込みは[こちら](#)をご覧ください。

※公式テキストブック「知る、わかる、ユニヴァーサルデザイン」ご購入は[こちら](#)をご覧ください。



中級受験に必須の
公式テキストブック



2020年12月の予定

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15 オンライン第1回 UD検定・中級 申込締切	16	17 14:50~ 衣のUDPJ オンライン会合	18 17:00~ IAUD国際デザイン 賞2020プレゼンテ ーション/表彰式 オンライン開催	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29 事務局 年末年始休業	30	31	1/1 元旦	1/2	1/3

※新型コロナウイルス対策のため政府より不要不急の外出の自粛が要請されていることを受け、IAUDでは研究部会等の行事開催を一部見合わせ及びオンラインで実施しております。

IAUD事務局は、2020年12月29日(火)から2021年1月4日(月)まで年末年始休業いたします。2021年1月5日(火)より、通常通り営業いたします。

次号は2021年1月上旬発行予定

特集:古瀬理事長から新年のご挨拶/IAUD国際デザイン賞2020プレゼンテーション・表彰式開催報告ほか

一般財団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会
事務局:〒225-0003 横浜市青葉区新石川 2-13-18-110
電話:045-901-8420 FAX:045-901-8417 e-mail:info@iaud.net